

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの提供をホームの方針としています。必要性を検討した結果、安全性を優先し4本柵を使用しています。記録面で検討の経過が残せていないのが現状です。	検討の経過を記録とし残す。	拘束記録には必要性を記載する欄を設けていますが、検討の経過を記録する書式にはなっていません。別紙にて、検討の経過を詳細に記録とし残すように改善します。	3ヶ月
2	49	ADLの低下、認知症の進行に伴い、外出の機会が少なくなっている。	利用者個々の状況に応じ、少グループや個別の外出機会を持つようにし、筋力低下予防や気分転換に努めたい。	日常的な外出支援は困難となっても、利用者個々の状態に合った外出機会を継続して持つことができるよう支援したい。	12ヶ月
3	1	職員は理念を理解し、理念に基づいたケアを提供しているが、一層の共有を図る必要がある。	利用者の機能低下、認知症の進行に伴い、生活支援より介護主体のケアになってきており、理念に基づいた介護の提供で重度化に対応する。	理念を変更することなく、生活支援を主体に理解していた理念を、理解を深めることで介護にも活かしていきたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。